

うりずんの想い

私たちの住む地域のどこかで、
重い障がいを抱えた子どもたちと
24時間その子どもを介護している家族が暮らしています。
うりずんは、子どもたちが友だちと楽しく遊び、
両親は介護から離れひと休みできる場所です。
障がいを持った子どもと家族が
「普通」に暮らすことができる社会を目指しています。



さくらの花びら降る頃には…みんなは一年生



ご卒園おめでとうございます

今年の卒園式は3月
14日(金)に行われ、暖
かな日差しの中4人のお友だちが『はりゆん』を
巣立っていきました。

スーツ姿が眩しい4人の男子。

あんなに小さかったのにすっかりお兄さんの顔
つきで、お父様・お母様が優しく晴れがましい
顔で見守る中、青の花で装飾された会場に入
ってきました。

いつもと違う様子に緊張している様子でした
が、堂々と卒園証書を受け取ることができました。

会場全員でこれまでの出来事を思い出しながら
「思い出のアルバム」を歌いました。

春のお散歩、夏のプール、秋の焼き芋パーティ、
冬のクリスマス…。たくさんの笑顔の思い出がみ
んなの成長の証で、みんなとの絆なのだと改め
て感じる事が出来ました。

さくらの花びらが降る頃にはみんなは1年生
です。

何度も入院して、何度も痛い思いをして、その
度にたくさんの愛情に守られて、生きる力を発揮
して乗り越えてきましたね。強くてたくましい尊
い命です。

これから出会うたくさんの「楽しい!」に体も
心も揺さぶられて大きくなってくださいね。

これから出会うたくさんの人と手をつないで大
きくなってくださいね。

私たちはいつでもこの場所から皆さんを応援し
ています。

ご卒園おめでとうございます。(齋藤由美子)



大きくなったね



嬉しいね



おめでとう



お歌上手だね

うりずんの季節となりました

いつもご支援ありがとうございます

令和7年4月



認定特定非営利活動法人うりずん

理事長 高橋昭彦

親が介護をしなくても、生き生き暮らしたい



左から、うりずん豊田、高橋、みらいの吉田さん、うりずん今泉

令和7年2月、埼玉県東松山市にある社会福祉法人昴の「グループホームみらい」へ見学に行きました。ここは、医療的ケアを受け入れる全国でも数少ないグループホーム（介護包括型）です。平成23年に開所、令和6年から

人工呼吸器の利用者も受け入れを開始、家族は24時間いつでも面会ができ、週末は家に帰るのも、ホームで過ごすのも自由。それまで在宅で利用していた訪問看護や訪問診療、訪問リハ、ヘルパーなどをそのまま継続利用できます。入所しても、地域や家族とのつながりを断絶させないことが重要と、みらいの吉田隆俊さん。素晴らしいのは、お風呂に毎日入っておられることと、地域の子どもたちの登下校を見守る地域活動などもされていることでした。



居家は、家具やグッズを持ち込んでお気に入りの空間に

コンドームの達人！ 岩室紳也さん

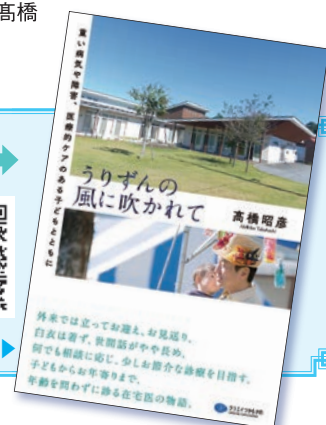
今年の目標の一つ、「会いたい人に会う」を実行しました。岩室紳也さんは、学生時代からお世話になっていた、自治医大の先輩です。泌尿器科の医師ですが、コンドームの達人（YouTube 672万回再生）として知られ、AIDS患者の支援、東日本大震災の被災地支援、中高校生に分かりやすい性教育など、多方面で活躍されています。SNSで、岩室さんが通う居酒屋が何度も登場するので、いつかご一緒したいと思っていました。思い切って、2月にお会いしたいとお願いして、実現したのです。神奈川県出身の私の同級生、濱田俊之さんも誘って3人での会合となりました。ただただ、美味しく、楽しいひと時を過ごせたことに感謝です！ これからも、会いたい人には、機会を作って会いに行こうと思います。



左から、岩室紳也さん、濱田俊之さん、高橋（時代屋・二俣川にて）

◆ 本を出しました！ よろしくお願ひします！

2025年4月26日、書籍「うりずんの風に吹かれて ― 重い病気や障害、医療的ケアがある子どもとともに」を、クリエイツかもがわより発刊しました（税込定価2,420円）。うりずんでもお買い求めいただけます。詳しくは、チラシ、HP（クリエイツかもがわ等）、お近くの書店をご覧ください。[うりずんの風に吹かれて] 表紙です▶





第3回くくるん家族交流会を開催しました



フルーツ(?) 狩りの様子 どれがいいかな～



ナイチュウとハイチーズ!

栃木県医療的ケア児等支援センターくくるんは、3月9日(日)にうりずんで第3回家族交流会を開催しました。

屋内ではニュースポーツであるバッコやeスポーツの体験ができるコーナーがあり、それぞれ子どもたちが白熱した対戦をしていました。

また、フォトフレーム制作では外のスポットで撮影した写真を飾るためのフォトフレームを色とりどりに制作していました。

バルーンアートのブースではタコや剣、フルーツなどの作品、お菓子すくいのブースではすくったお菓子のプレゼ

ントがありました。

奥の部屋では、保護者交流会が開催されました。保護者同士が本音を話し合い、共感し、時には涙する場面もありました。

さらに障害福祉課のマスコットキャラクターのナイチュウも来てくれ、きょうだいさんと一緒に遊び、とても賑やかな一日となりました。

たくさんのご参加の皆さん、ボランティアさん、ありがとうございました。(田中 靖子)



うりずんにも雪が来た



スタッフさんと一緒に雪にタッチ!



みんなで雪遊びを楽しんだよ

2月6日(木)、うりずんにそらぷちキッズキャンプさんより、北海道の真っ白い新雪が届きました。宇都宮にも前日雪が降りましたが、北海道の雪はさらさらでキラキラ!

イベントではそらぷちキッズキャンプさんの他にも東京や、沖縄のお友達とリモートで繋がり、北海道の雄大で幻想的な景色を理事長と一緒に楽しみました。雪に実際に触れたご利用者様の中には、びっくりして目をまん丸に

していた方や興味津々で雪をよーく見ていた方など、なかなか触れることのできない北海道の雪をみなさん楽しんでいました。

また、スタッフと雪合戦を楽しんだり、雪のうさぎさんをつくったりと、普段ではできない雪遊びも楽しむことが出来ました。そらぷちキッズキャンプさん、素敵な贈り物をありがとうございました。(小島 麻紀)



うりずん日記

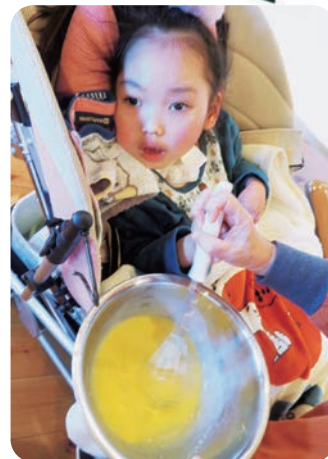
笑顔がたくさん！



雪のケーキでおめでとう！



ありの～！ままの～！



ま～ぜま～ぜ♡

2月、そらぶちさんから雪のギフトが届き、みんな大喜び！お友達のお誕生日にと真っ白な雪のケーキを上手に作り、ろうそくを立ててハッピーバースデー！をお祝いしました。

別の日は外に出てせっせと雪の球を作っては…天井にドーンッ！つめたいっ！子どもたちとスタッフで投げた雪の球が碎けて容赦なく降り注ぎます。そんな中で目をつぶるお友達に、「大丈夫だよ！」と声をかけていたり、お互いに冷たいね！を共有したりと、友情が育まれた時間でもありました。隣では「ありの～！」「ままの～！」と、リアルアナ雪が繰り広げられていて大笑い。どんな空間もうりずん色になってしまうもので、不思議です。

バレンタインの日、はりゆんでは大好きな人を想いながら小さな手をゆっくり動かし、お菓子を作りました。よろこんでもらえたかな。子どもたちにとっても、想いを伝えられる特別な一日になったと思います。

3月はおひな祭りです。うりずんのどこかに隠れたひな人形を探し出し、ひな壇に飾る遊びをしました。五人囃子が一番上に居たりと、まるで場所取り争奪戦のようでした。リカちゃんがやってきて左大臣や仕丁*さんをおもてなし、1年生のペコちゃんのフォトスタジオになっていたり、子どもたちもスタッフまでも遊びつくし、たのしいひなまつりとなりました。

今年もうりずんらしく、日々を大切に。関わる全ての皆さまと一緒に毎日を彩っていただいたいなあと思います。

(川島 永莉)

*仕丁(してい)：宮中の雑用係で、普通は最下段に置かれます



うれしいな♡

うちやばちょ～で～会 ゆるゆるの会開催しました



真剣な表情のチョコファウンテン

チョコを果物やマシュマロにデップをして楽しく食べました。

その後お待ちかねのエアトランポリンやゲームなどでたくさん遊びました。

会を重ねる毎に顔見知りになっていくきょうだいさん同士、仲良くなるのも早く、スタッフも嬉しい気持ちになりました。

(益子 郁子)

2月2日(日)にうちやばちょ～で～会*主催のゆるゆるの会を開催いたしました。

当日の朝は雪が積もっており、きょうだいさんたちがどれくらい来られるか心配しておりましたが、どなたもキャンセルがなかったのはさすがでした。きょうだいさん18名、ボランティアスタッフ9名が参加しました。

メインイベントとして、バレンタインデーのチョコを作りました。また、チョコファウンテンから流れる



みんなで仲良くエアトランポリン

※うりずんのきょうだい支援を考える会

<<<各事業稼働状況>>>

(2025年3月31日現在)

日中一時支援事業

●現在の登録状況…………… 56名

●2025年1月～3月のご利用状況 (人)

1月	2月	3月	合計
193	162	187	542

* いずれも延べご利用人数です

居宅介護事業

●現在の登録状況…………… 30名

移動支援事業

●現在の登録状況…………… 17名

重度訪問介護事業

●現在の登録状況…………… 4名

相談支援事業

●現在の登録状況…………… 26名

児童発達支援・放課後等デイサービス事業

●2025年1月～3月のご利用状況 (人)

	1月	2月	3月	合計
児童発達支援	121	102	117	340
放課後等デイサービス	110	108	124	342

見学・ボランティア等ご来所者数

●2025年1月～3月のご利用状況 (人)

	1月	2月	3月	合計
見学者	4	0	0	4
ボランティア	7	2	1	10
計	11	2	1	14

●現在の登録状況

◆児童発達支援…………… 17名

◆放課後等デイサービス …… 31名

* いずれも延べご利用人数です

※ 詳細につきましては、認定 NPO法人うりずん HP「事業所案内 活動報告」をご参照ください。

うりずんの仲間たち

ご家族に伺いました♪

名前：南場 一華さん
ニックネーム：いっちゃん

学年・年齢：年長・5歳

好きなこと：

手を握ってもらうこと、音楽を聴いて身体を動かすこと、ママと一緒にお昼寝をすること

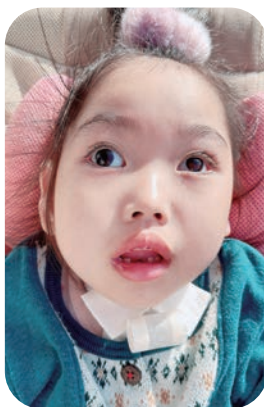
嫌いなこと：大きな音、オムツ交換（足を触られる事に敏感）

うりずんってどんなところ？：

一華の笑顔がたくさん引き出してくれる所、お友達がたくさん出来る所、色々な経験ができる所

メッセージ：

うりずんに通い始めて自我が出てきて、やりたい事には意欲的にアピールをしたり表情が豊かになりました。うりずんの皆さんに支えられて集団生活の楽しさを覚え、日々成長しています。これからも宜しくお願いします。

名前：中村 碧斗さん
ニックネーム：

あおちゃん

年齢：2歳

好きなこと：

手遊び（糸まき）、歌、太鼓のおもちゃと光るおもちゃで遊ぶ

嫌いなこと：着替え

うりずんってどんなところ？：

とにかく楽しい！

メッセージ：

家ではできない経験をさせていただきありがとうございます。うりずんに通い始めてから碧斗の笑顔が増えて、家族みんなが楽しく過ごせています。感謝の気持ちでいっぱいです。



春の樹木が

花を咲かせる季節なのに

咲かずに終わったつぼみの想いは
密かに心に残っているよ。

君との日々、過ごした時間は

一つ一つが宝石のようで

どれもが綺麗に輝いている

感謝の束を受け取れば

宝石たちが涙となって頬を伝うけれど

私の探す君は遠く、

声をかける勇気もなく

喧噪の中、雲ひとつない

澄んだ空を見上げて一人

「好きだったよ…」と。

誰の耳にも届かないように

神に祈った願いのかけらを天に浮かべて。

ため息が溶けた空の青
KOMEY

うりずん応援団コーナー

NPO法人うりずん寄付者名簿(敬称略)

令和7年1月1日～3月31日(到着分)

ご寄付 6,988,987円をいただきました。ご支援ありがとうございました。

■一般寄付者 114名(うち匿名22名)

青森県	宇都宮市 駒場 哲子	宇都宮市 築瀬 静江	那須塩原市 渡邊 秀樹	埼玉県	横浜市 成田すみれ
青森市 大瀧 潮	助名 善夫	渡辺 照美	真岡市 菊池 浩史	川口市 齋藤 喜作	横須賀市 狩口薬局
岩手県	鈴木 勇二	日光市 大嶋 洋子	下野市 黒田 光恵	さいたま市 新藤愉愛子	岐阜県
奥州市 椎名 くに	武井 大	大嶋 洋史	下野市 小島 好子	さいたま市 永井 秀雄	岐阜市 高橋 直人
一戸町 田中 恭子	田村 雅子	川村 和枝	本間 洋子	宮谷 博幸	大垣市 土屋 邦洋
栃木県	塚田 貴子	医療法人社団志幸会	小山市 里光やよい	本庄市 坂本喜久枝	滋賀県
宇都宮市 赤羽 政幸	鶴岡登志子	木村内科医院	栃木市 阿部 道子	和光市 坂内 博子	米原市 小椋 一司
安藤 保	手塚耳鼻咽喉科医院	大門 泰子	川嶋 陽子	東京都	大阪府
入江久美子	床井 忠夫	田中 敏子	坂本 寿子	渋谷区 市川 洸	池田市 高橋 昭夫
宇都宮中央ライオン	栃木県民共済生活協	日原 拓美	ナティーム ムハンマド	中野区 塩田美津子	箕面市 折田みどり
スクラブ	同組合	藤巻 郁子	上三川町 伊澤 源水	練馬区 櫻林郁之介	愛知県
日本聖公会宇都宮聖	橋本 紀子	山口健太郎	高根沢町 佐藤 正行	文京区 尾崎 雄	名古屋市 安 大輔
ヨハネ教会	橋本 正行	さくら市 加藤 朋子	古口 保	港区 酒井三貴子	高知県
子育て支援研究セン	原澤 弘一	福田 雅章	群馬県	長谷川 暉	香美市 五十嵐 晃
ター Tiny	半田江津子	大田原市	渋川市 菅野 圭一	町田市 横手 貴子	熊本県
大柿 聡久	船瀬 安子	一般社団法人えんが	高崎市 田路 了	神奈川県	熊本市 岡田 誠治
落合 歩美	星 紀彦	渡邊 学	茨城県	横浜市 小坂 仁	その他
小野 健市	武藤 高茂	那須塩原市 齋藤 茂子	筑西市 宮田 絵李	志保田俊男	うりずん応援団募金箱
金子 徳代	柳澤 邦夫	高根澤 孝	宮田 信之	永田 幸雄	

■個人賛助会員 60名入会(うち匿名8名)

宮城県	宇都宮市 高木登茂子	下野市 本間 洋子	茨城県	文京区 尾崎 雄	石川県
石巻市 木村 幸美	田村 雅子	小山市 里光やよい	筑西市 宮田 信之	港区 酒井三貴子	金沢市 上瀧 大
仙台市 田中総一郎	塚田 貴子	栃木市 川嶋 陽子	埼玉県	永澤 直子	滋賀県
栃木県	土沢 薫	佐野市 坂本 寿子	さいたま市 永井 秀雄	千葉県	大津市 鈴木 順子
宇都宮市 池本喜代正	床井 忠夫	ナティーム ムハンマド	和光市 坂内 博子	市川市 金屋 友子	高知県
大柿 聡久	渡辺 照美	上三川町 伊澤 源水	東京都	神奈川県	香美市 五十嵐 晃
倉井カツ子	日光市 大嶋 洋史	野沢貴美子	葛飾区 石井 昭代	川崎市 小竿 順子	長崎県
近藤 貴子	日原 拓美	高根沢町 佐藤 正行	北区 篠崎とし子	横浜市 小坂 仁	西彼杵郡 下村千枝子
倭文 一彦	福田 栄子	市貝町 平野 知子	墨田区 林 亜由美	志保田俊男	
鈴木 勇二	町野 孝子	群馬県	世田谷区 並木 大典	成田すみれ	
須藤 勝則	さくら市 福田 雅章	渋川市 菅野 圭一	中野区 相澤 裕子	岐阜県	
五月女夏巳	下野市 田邊 陽子		練馬区 中原 陽	大垣市 土屋 邦洋	

■団体賛助会員 6団体(匿名0団体)

栃木県	那須塩原市 さいとうクリニック	山梨県	熊本県
宇都宮市 (株)TSコーポレーション	真岡市	中巨摩郡	合志市
(株)睦工業	(医)創生会 真岡西部クリニック	(医)社団健輝会 げんきキッズクリニック	認定NPO法人 NEXTEP

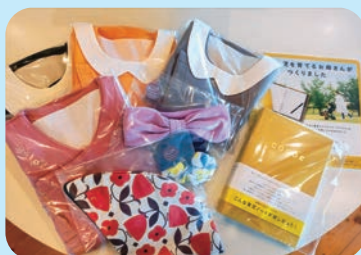


ご寄贈ありがとうございました。

多くの方々から寄贈品をいただきました。誌面の都合により、すべての寄贈品を掲載できず、申し訳ございません。心より御礼申し上げます。



穂吉 秀隆様



岩多屋様



上野まこと様



天満屋様

うりずん応援団に参加しませんか？

「うりずん応援団」はうりずんに関わる全ての方々（利用者様、ご家族様、ボランティアさん、関係機関の皆様、ご支援者や協賛企業の皆様、そしてスタッフ等）が会員となり、共にうりずんを応援していこうという活動です。

●うりずん応援団 協賛企業会員

Special会員



栃木県民共済生活協同組合

〒321-0974 栃木県宇都宮市竹林町 488-2
TEL: 028-627-2030 FAX: 028-627-2116
URL: <https://tochigi.kyosai-cc.or.jp/index.html>

（ 栃木県民共済生活協同組合様より
「うりずん」への応援メッセージ ）

「障がいのある人もない人も共に助け合える社会」を目指すうりずんの、思いやりの心と人道的精神に基づく活動は、当組合の協同の心を基本理念とする助けあいの制度に通じており、大いに共感をいたしました。微力ではありますが、皆様の暮らしの安心を支えるための思いが、多くの方々の笑顔につながることを願っております。

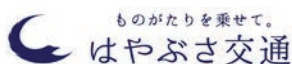
県民共済は、営利を目的としない助けあいの保障事業です。設立以来、事業哲学である「非営利主義・最大奉仕・人道主義」を基本原則として、ご加入者の暮らしの安心を守り続けてきました。誰しも予測できない暮らしの不安に備え、真に保障を必要としているすべての人々に、営利を目的としない「助けあいの輪」をひろめ、暮らしに安心をお届けしていくために、これからも努力を重ね続けて参ります。

Special会員



あなたと、つぎの景色へ
ブリヂストンタイヤ栃木販売株式会社

Regular会員



Friend会員



うりずん応援団寄付のお願い

うりずんは、活動の趣旨に賛同し、寄付や会費、ボランティア等でご支援くださる個人や団体、企業を「うりずん応援団」と名づけ、支援者の輪を広げています。一人でも多くの子どもと家族を笑顔にするためにぜひ、「うりずん応援団」にご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

○うりずん応援団

継続的にご支援をいただける方は、年会費(定額)による支援をお願いします。

《賛助会員》

個人 3,000円 団体 10,000円 (寄付扱いとなります)

《協賛企業会員》

Premium 1□ 50万円 Special 1□ 20万円

Regular 1□ 10万円 Friend 1□ 5万円

《一般寄付》(金額は任意で設定いただけます)

【各種振込先のご案内】

振込みは、ゆうちょ銀行の専用口座へお願いします。(誠に恐縮ですが、手数料は別途ご負担をお願い申し上げます)

<ゆうちょ銀行からのお振込み>

□座番号: 00110-4-441471

□座名: 特定非営利活動法人 うりずん

<ゆうちょ銀行以外からのお振込み>

〇九店 (ゼロイチキュー店)

当座: 0441471



【オンライン寄付】

うりずんのホームページ

(<http://www.npourizn.org/>) からのご寄付と賛助会員のオンライン決済ができます。



【寄付金額の最大 50%が税金から戻ってきます!!】

「うりずん」は「認定NPO法人」のため、うりずんへの寄付には確定申告の際、税制上の優遇措置が受けられます。

令和 6 (2024) 年度研修報告

① 栃木県小児在宅医療体制構築事業

今年度も栃木県より小児在宅医療体制構築事業を受託し研修会等を行いました。

今回で第8回目となる小児在宅医療実技講習会に加え、今年度より実技等の習得の支援に特化した小児在宅医療実技講習会のアドバンス編が加わり、小児在宅医療実務研修会(2回)を合わせて、計4回の研修会が開催されました。

対面集合形式で研修会・講習会3回の開催に加え、オンラインでの研修会(実務研修会② 2024/8/25(日)開催)では、「治療が望めない病気をもつ子どもと家族に関わる際に大切にしたいこと～小児における意思決定支援を考える～」(講師:国立成育医療研究センター 総合診療部緩和ケア科 診療部長 余谷暢之さん)と題してご講義をいただきました。

医療機関との連携についてや重篤な状態にある子どもの意思決定について、また子どもと関わる関係者のグリーフケア(大切な方を亡くした方や、死別や別離などによって悲しみや痛み苦しむ人を支えるケア)について、グループワークを通して学びを深めました。受講いただいた方からは、「小児のACPは難しいと思っていたが、普段の関わりの中で、意識して対話していこうと思った」や、「本人が主体であることを決して忘れず、家族ケアを行う重要性や難しさを学んだ」という感想をいただきました。

また、第8回目となる小児在宅医療実技講習会(於:獨協医科大学病院 2025/1/26(日)開催)では、60名の定員を超える申込みをいただき、人工呼吸管理と在宅酸素療法・気管切開・気管カニューレ管理・胃ろうの管理に加えて、プログラム(「てんかん重積状態」の際に投与するお薬)や、主に食物アレルギーに対して処方されるエピペンの投与方法について、てんかんや食物アレルギーの病態生理や、実際の投与方法を体験していただきました。

本年度の栃木県小児在宅医療体制構築事業の実施報告は以下の通りです。



2024.10.20(日)
小児在宅医療実技研修会 ～アドバンス編～
インクルーシブパティシエ 志水香代さん
調理実習の様子



2025.1.26(日) 小児在宅医療実技講習会
実技講習の様子(プログラム投与の実際)

令和 6 (2024) 年度 栃木県小児在宅医療体制構築事業

- ・小児在宅医療実務研修会①(2024/7/17(水) 参加者39名)
- ・小児在宅医療実務研修会②(2024/8/25(日) 参加者47名)
- ・第8回小児在宅医療実技講習会(2025/1/26(日) 参加者101名)
- ・小児在宅医療実技講習会～アドバンス編～(2024/10/20(日) 参加者28名)
- ・医師向け訪問診療同行研修(随時受入れ3件)
- ・小児在宅医療に関わる医師等を対象とした相談支援事業(随時9件)
- ・小児在宅医療体制構築事業の充実を図るための検討会(2025/2/18(火))

② 喀痰吸引等研修指導看護師養成研修(2024/6/28・2025/2/26)

③ 喀痰吸引等研修(第三号研修特定の者対象)(2024/6/28.29・2025/2/26.27開催)



喀痰吸引等研修(第三号研修・特定の者)
演習の様子

今年度は23名の介護職・保育士の方々と、11名の看護師の方々に受講いただきました。受講者様からは「直接当事者ご本人の声を聞くことができるのは、ありがたいと思った。ご本人と支援者との関係性が良いことが資料等から感じた」や「法律などが整ってきても、本当に医療的ケア児が望むケアで、家庭環境や保育所、学校がうまくサポートしていけたら良いなと思った」等のご感想をいただきました。

令和 7 (2025) 年度の喀痰吸引等研修
(第三号研修・特定の者)の予定

- ・2025年6月25日(水) 27日(金)
- ・2026年2月25日(水) 26日(木)の予定です。

詳細とお申し込みは、うりずんのホームページをご覧ください。
(金澤 知子)

編集後記



様々な出会いと別れをむかえ
新年度がはじまりました。
この一年を過ごし、命の尊さを
子どもたちの力強いパワーを
深く感じています。
今年度もみなさんにたくさん
笑顔が咲きまようように。 小林 明晴



うりずん通信・テレマカシー

第 53 号 2025 年 4 月 30 日発行

<https://www.npourizn.org/>



《編集・発行》 認定特定非営利活動法人 うりずん
〒321-2116 栃木県宇都宮市徳次郎町365-1
TEL: 028-601-7733(代) FAX: 028-665-7744(代)
Mail: urizn@hibari-clinic.com
《デザイン・印刷》 デザインスタジオ アクセス